

新本庁舎の機能と設備に関すること

1. 行政機能

(1) 来庁者・職員の利便性に関する事項

【ユニバーサルデザイン】

- ひとにやさしいまちづくり条例で定める目標となる指針に基づいた、利用者の動線に考慮した出入口の配置、エレベータの仕様など利用者の目線によるきめ細やかな配慮を行います。
- 多機能トイレやICT技術を活用した多言語対応の案内表示板・掲示板など、障害者や高齢者、外国人など障害の有無や年齢、性別、国籍に関係なくすべての利用者に使いやすいユニバーサルデザインの設備を整備します。

【サイン計画】

- 庁内外を分かりやすく案内し、利用者を的確に導くため、直感的で分かりやすいユニバーサルデザインのサイン計画とします。
- 地下鉄出入口・定禅寺通・市民広場・敷地内広場等の外部アクセス動線の案内サインについては、仙台市歩行者系案内誘導サイン等基本方針を踏まえた整備を行います。

【庁舎内の移動】

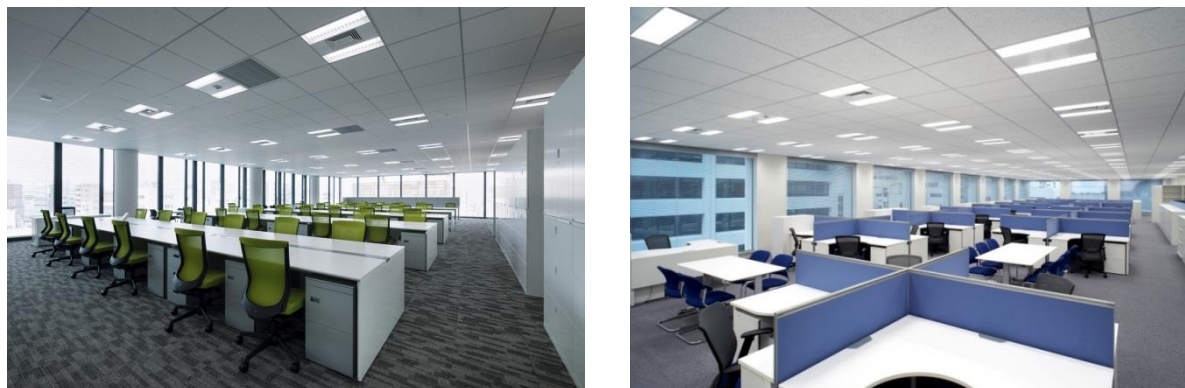
- 使いやすさ、移動しやすさの観点から、適切な基数のエレベータを設置します。
- 職員の働きやすさ、ウェルビーイングの観点も踏まえ、執務空間を移動しやすい階段を設置します。

(2) ワークスペース（執務環境）に関する事項

【オフィスレイアウトなどの考え方】

- セキュリティゾーニングにより、適切なセキュリティ区分を設けます。
 - 執務面積の合理化や維持管理コスト縮減を図るため、原則としてユニバーサルレイアウト(※)を導入する方向性とし、フリーアドレス、ABW (Activity Based Working) の導入も視野に入れ、多様な働き方ができる執務空間を検討します。
 - 低層部に配置する共用会議室等の間仕切り壁を可変性のあるものとするなど、将来の低層部空間の需要の変化や会議室の需要、法改正等に伴う新設部署の設置などに対応した計画とします。
- ※ ユニバーサルレイアウト：組織変更の際にレイアウトを変更せず、人や物、書類などの移動のみで対応するワークスペース運用方法。（「公式ガイドファシリティマネジメント」日本経済新聞社刊参照。具体的なイメージは以下のとおり。）

<ユニバーサルレイアウトの例>



(提供：鹿島建設株式会社)

【ウェルビーイング（心身ともに健康な状態で知的生産性を向上させる）の実現】

- 快適な室内環境を保つため、タスクアンビエント照明等を導入します。
- 階段利用など、勤務時間中の運動を奨励する設計を実施します。
- 健康相談室、リラクゼーションスペースの設置やデザイン的要素による配慮など、心身の健康をサポートする配慮を行います。
- 食堂などにおける健康的な食習慣を促す配慮を行います。
- CASBEE-WO(※)などウェルビーイングを意識した認証の取得も視野に入れた設計を実施します。

※ CASBEE-WO：執務者・利用者が、健康で知的生産性向上を目指せるオフィスビルを評価するツール。執務者の健康性・知的生産性を直接に評価するのではなく、あくまでそれを目指したハード・ソフト面での取り組み内容を評価する。

【その他生産性を高める執務環境を実現するための取組等】

生産性を高める執務環境を実現するため、以下の取組を検討します。また、現在実施している仙台市役所執務環境調査等業務委託の成果等を踏まえ、多様な改善策を実施します。

- 個人の印刷枚数管理などを目的とした集中管理プリンターの設置
- 職員の生産性向上の観点から、内線電話・LANの無線化
- ICカード等を利用した出退勤・入退庁管理システムの導入
- BCPの観点から遠隔地で業務を行うためのテレビ会議・テレワーク等ができる設備の導入

(3) 環境配慮に関する事項

【新本庁舎の環境配慮技術に関する性能目標】

- BEMS (ビルエネルギー管理システム) 等の導入による環境負荷の低減を図ります。
- 『ZEBready』認証取得も視野に入れ、適切な省エネルギー手法の比較を行います。
- 将来的に『NearlyZEB』を見据え、将来の更新性に配慮した機器や汎用品を選定すると共に、太陽光発電、太陽熱利用 (冷暖房など) などの再生可能エネルギー手法の機器を増設可能な計画とします。

【導入する技術や設備】

- パッシブ技術 (寿命が長く改修困難なファサードの負荷削減等の建築計画的な手法による省エネルギー化) やアクティブ技術 (高効率設備機器の導入による省エネルギー化)、空調や給水などの配管を最短化するなどの効率化等の観点により ZEB 実現のための詳細設計を行います。

【その他の地球環境への配慮】

- ゴミ捨て場のサイン計画の工夫やリサイクルステーションの整備によるごみ分別の徹底を行います。

2. 議会機能

- 議会機能については、市議会からの答申「本庁舎建て替えに向けた議会棟及び議会機能のあり方」を踏まえ、市民に身近で開かれた議会を目指すとともに、サイン計画やバリアフリー対応、ICT環境、セキュリティ対策、環境負荷の低減、災害等の非常時対応など、必要な機能や設備について、答申を踏まえて計画します。

3. 災害対策機能

(1) 建物の高い安全性の確保

- 「総合耐震・対津波計画基準」の最高水準である「構造体Ⅰ類、非構造部材A類、建築設備甲類」を確保するとともに、宮城県沖地震や長町一利府断層による地震などに対応できる最新の知見に基づく安全性の検証を実施します。
- 都市停電や都市火災等の都市災害に対する安全性を確保します。
- 高層化による風揺れ対策や暴風による屋外の機器、ガラスの破損対策、集中豪雨などの浸水対策等の風水害に対する安全性を確保します。
- 天井材、設備等の落下防止対策や家具などの転倒防止対策を施し、建物内部の安全性の確保を図ります。

(2) 災害対策機能の強化

【災害対策本部機能】

- 迅速かつ的確な意思決定ができるように災害対応の拠点をできる限り同一フロアに配置します。
- 停電によるエレベータの停止などに備えて、災害対策本部室は中低層階への配置を検討します。
- 災害対策本部室は平時利用を踏まえ、会議室などとの共用利用について検討します。

【災害対策支援機能】

- 共用会議室の転用などにより、警察、消防、自衛隊など防災関係機関、ライフラインの確保や復旧を担う民間事業者、他自治体支援職員の活動・待機場所を確保します。同様に報道機関等への情報提供、記者の取材・待機場所を確保します。
- 災害対応に従事する職員の仮眠室やシャワー室などの確保を検討します。
- FreeWiFi、防災メール、デジタルサイネージなど、ICT技術を活用した情報発信の場を設けます。
- 屋上へのヘリポート類（緊急離着陸場など）の整備を検討します。

【外部・内部防災機能（広場など）】

- 災害直後には、庁舎ロビーや共用会議室を転用し、来庁者などを一時的に収容できる避難場所として利用可能な計画とします。（24時間程度を想定）
- 災害時に敷地内の広場を防災広場に転用可能な構造とし一時避難場所とするほか、重車両の駐車を想定した路盤の部分の設け、緊急・復旧車両の駐車や支援物資の荷捌きスペースなどを確保します。
- 隣接する庁舎（青葉区役所）との連携、役割分担を行います。

(3) 行政・議会の継続性の強化

【ライフラインのバックアップ機能】

- 電力の二回線受電、非常用自家発電の燃料の備蓄（72時間以上）や冗長化のほか、備蓄倉庫による飲料水の確保やトイレの洗浄水に井水利用をするなどの配慮を行います。
- 災害時におけるBCP対応の一環として、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入を検討します。

【備蓄機能】

- 災害時、職員や一時避難する市民、観光客などの対応に必要な資機材や食料、飲料水、簡易トイレ等を保管する備蓄スペース等の機能を確保します。
- 保管する物品の種類や量、搬入経路を検討します。

【情報通信機能】

- 情報の一極集中へのリスク分散として、データサーバの分散化や回線の二重化を実施します。
- 電話、インターネット等の利用の他、防災無線や衛星電話の整備などにより、情報伝達手段の確保を図り、災害時における他庁舎との連携体制を確保します。

【整備段階を踏まえた機能確保】

- 工事期間中に大規模災害が発生する可能性を想定した仮設計画などを計画します。

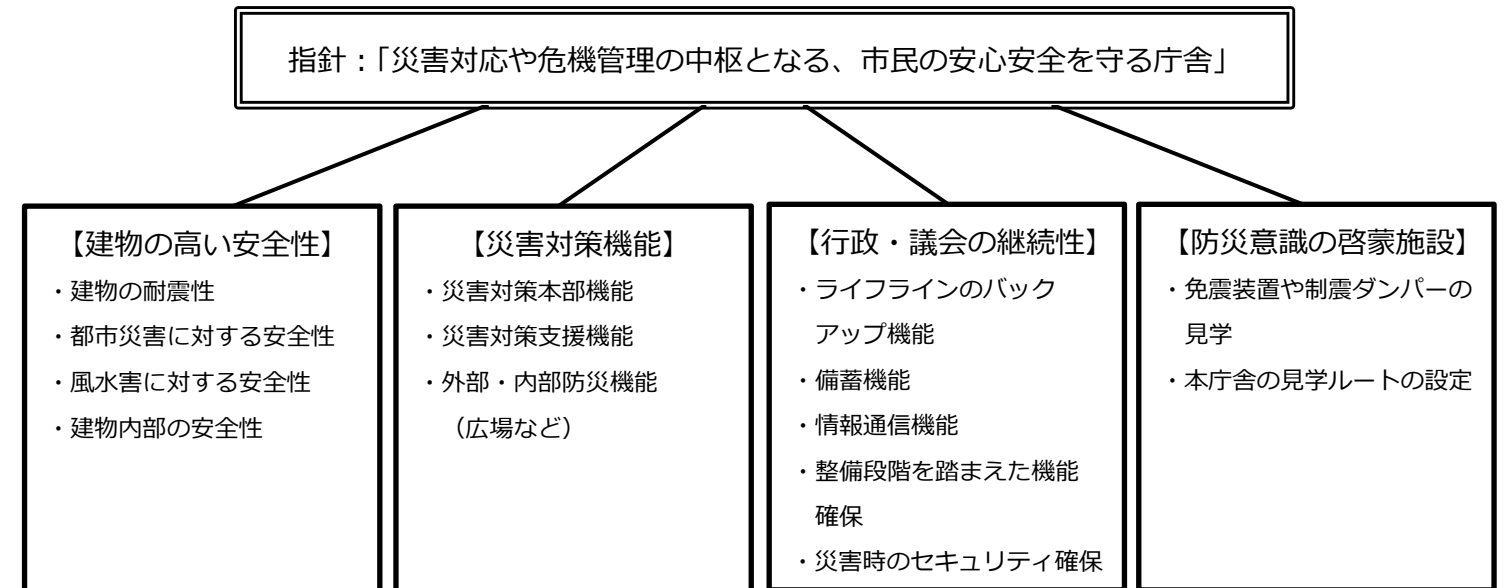
【災害時のセキュリティ確保】

- 災害時でも市民の個人情報や市の資産の安全を確保するため重要度に応じたセキュリティ対策を行います。
- 情報セキュリティ対策としてシステムの冗長化など災害に強いシステムを構築します。

(4) 防災意識の啓発施設機能

- 本庁舎において免震装置や制震ダンパーを見学できるルートを確認するなど、市民への防災意識の普及啓発を図ります。
- 子供を対象とした本庁舎の見学ルートを想定し、展示や案内プレートなどを工夫します。

＜災害対応に関する事項のイメージ図＞



4. 市民利用・情報発信機能

- デジタルサイネージを活用し、外国人、観光者なども含めた多様な来庁者に向け適切な情報発信を行います。
- 旅行者・市民が利用できるWiFi環境を構築し、賑わいに貢献できる環境の整備を検討します。
- これまでの本市の歴史性を踏まえ、一番町商店街からの軸線上にアイストップを設置します。
- 1階ロビーについて、選挙期間の期日前投票所、姉妹都市等訪問団歓迎、表敬訪問等のイベントに活用できるようにします。
- 行政と市民の円滑なコミュニケーションや連携を強化するため、共用会議室の時間外開放等を行います。
- 議会機能に隣接した展望スペースなどを設け、議会に訪れやすい空間を設けます。